

健康運動教室

日時:5月14日(水) 午前10時~11時30分

持ち物:タオル・飲み物

場所:三田ヶ谷公民館和室

問い合わせ 健康づくり推進課



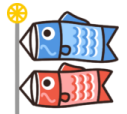
はつらつ教室

日時:5月23日(金) 午前10時~11時

持ち物:タオル、飲み物

場所:三田ヶ谷公民館和室

問い合わせ 高齢介護課



「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第12回 板碑)



神社や寺院、あるいはお堂や民家の敷地などで、板状の青い石が建っているのを目にしたことはないでしょうか。これは**板碑**と呼ばれ、「いたひ」「いたび」「はんぴ」などと読むほか、「**板石塔婆**」(いたいしとうば)や「**青石塔婆**」(あおいしとうば)とも言われます。

板碑は、板石で作られた**供養塔**です。頂部は三角形で、その下に二条線を刻み、上部に阿弥陀如来や大日如来などを意味する**種子(しゅじ)**が刻まれているのが一般的です。羽生市内にも多くの板碑が存在し、いずれも**青い石(緑泥片石)**が使われています。鎌倉時代から南北朝時代にかけて、多くの板碑が作られました。

三田ヶ谷公民館内にも板碑が2基存在しています。1つは**正慶元年(1332)**、もう1つは**建武3年(1336)**の銘が確認できます。後者は大きく欠損していますが、**花瓶(けびょう)**が刻まれている点に特徴があります。前者も下部が欠けており、45cmほどの大きさです。

この2基の板碑は公民館の敷地内に建っているわけではなく、館内で保管されています。由来は定かではありませんが、千代田中学校の開閉校、あるいは三田ヶ谷公民館の新設等に伴い、当時の関係者が板碑を大切な資料として捉え、保管したのかもしれない。

板碑は中世の資料です。例えば、廃寺となった古い寺院の存在を示したり、分布図から古道を導き出したりと、多角的に見ることで、文献では見られない地域の歴史を知る手がかりとなることがあります。ご自宅や、墓地内に板碑が建っていることも多いため、改めて目を向けてみると、これまで見えなかった新たな世界が広がるかもしれません。



板碑

歴史散策ウォーキング

令和7年6月1日(日)、
栃木県足利市の観光名所を
たずねるウォーキングを開
催します。

詳細は別紙でお知らせし
ます。

5 May	MON	TUE	WED	THU	FRI	2025 SAT
SUN 27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

公民館休館日